

## Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

問4 鳥取県の施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

### 問 4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組の満足度がトップ～

「豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が 33.8%と最も高く、次いで「観光資源を活用した観光誘客の取組」が 33.6%、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が 26.6%、「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」が 25.6%と続いている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、満足度は全ての年度で、「観光資源を活用した観光誘客の取組」「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が3割台で推移している。また、「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」は 29 年度以降、年々増加している。

一方、「次世代エネルギーの推進」「様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信等情報発信の取組」は4ヶ年を通じて減少している。

図9 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(n=1,500)

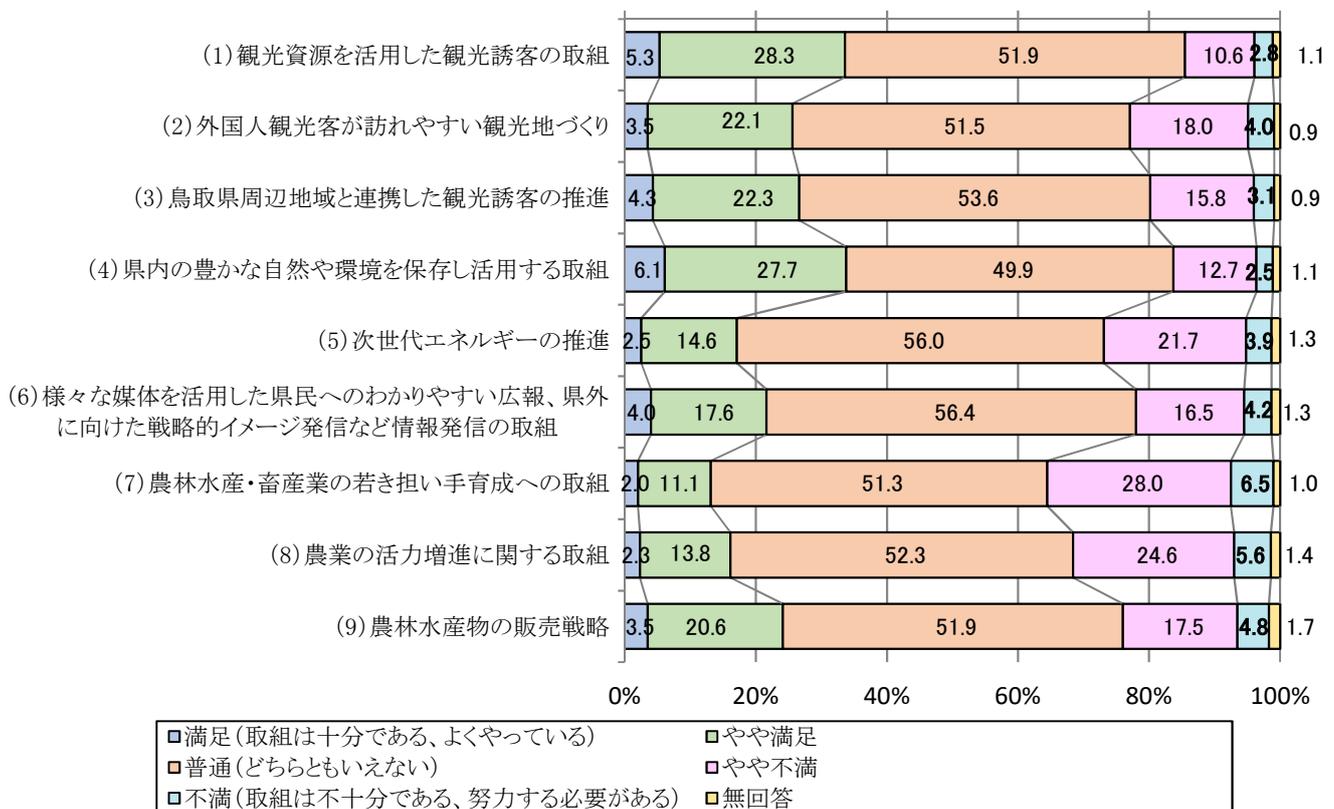
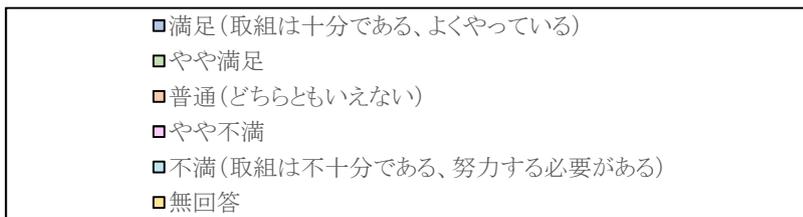
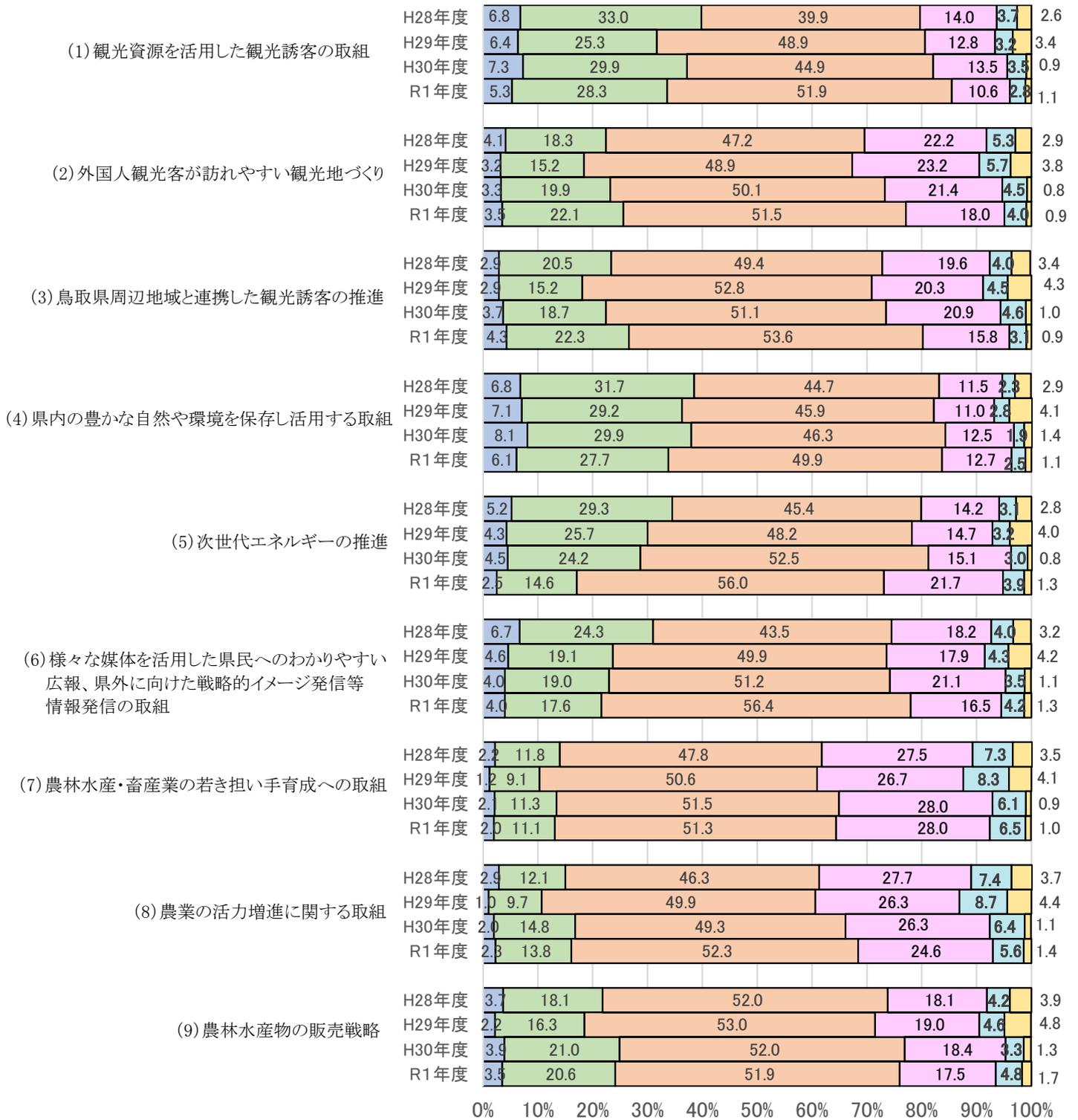


図10 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度



## 問 4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

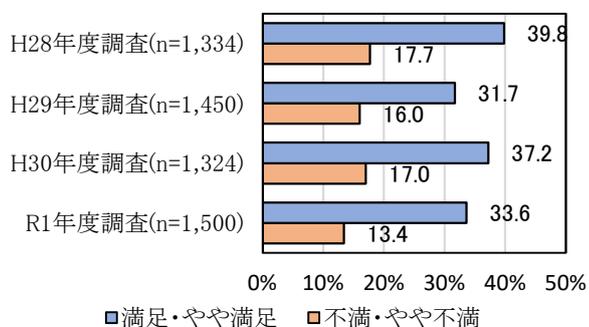
### ●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

- (3) 鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進 【+4.2】
- (2) 外国人観光客が訪れやすい観光地づくり 【+2.4】

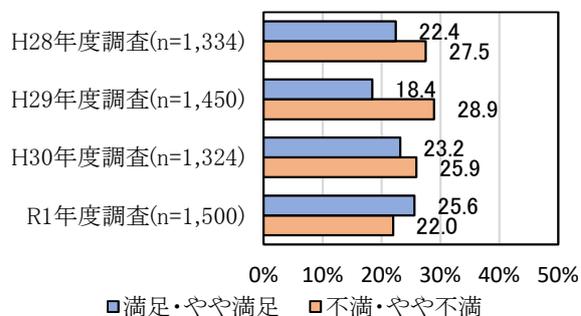
### ●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (5) 次世代エネルギーの推進 【+7.5】

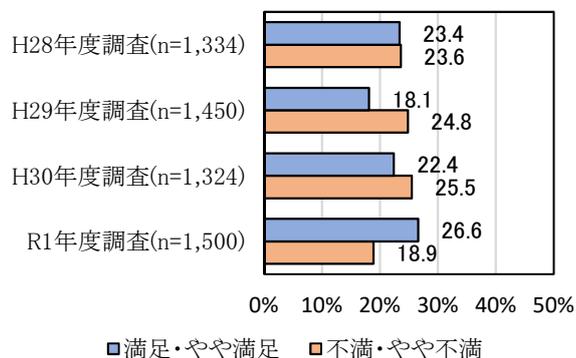
(1) 観光資源を活用した観光誘客の取組



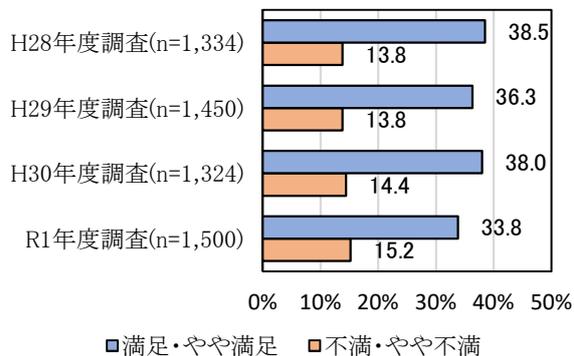
(2) 外国人観光客が訪れやすい観光地づくり



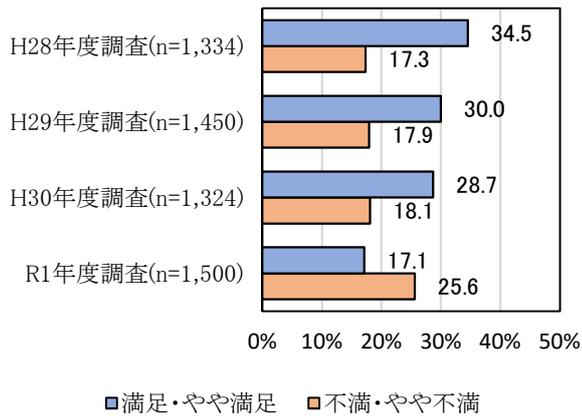
(3) 鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進



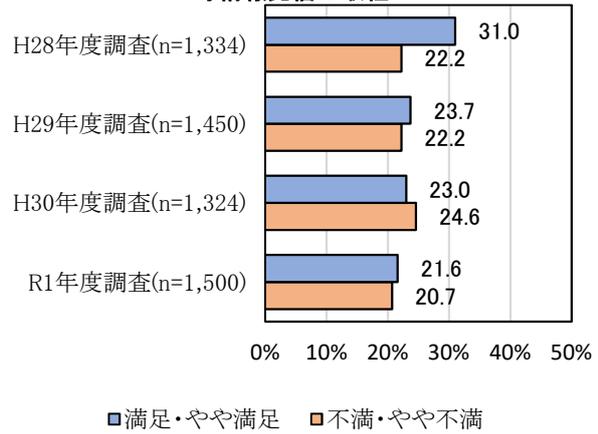
(4) 県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組



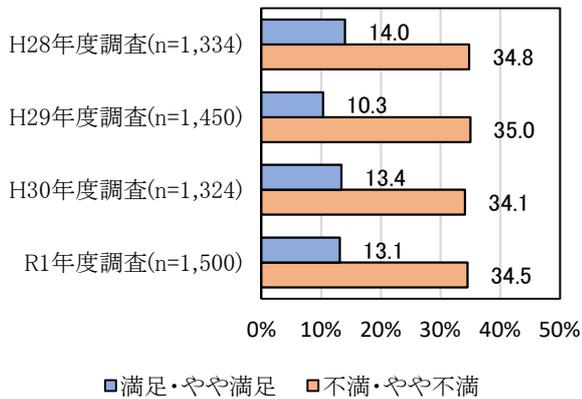
(5) 次世代エネルギーの推進



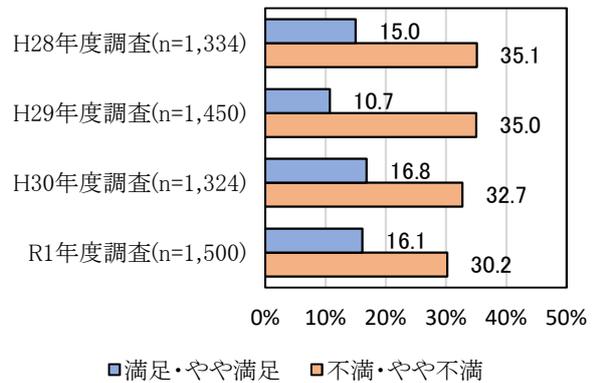
(6) 様々な媒体に活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信等情報発信の取組



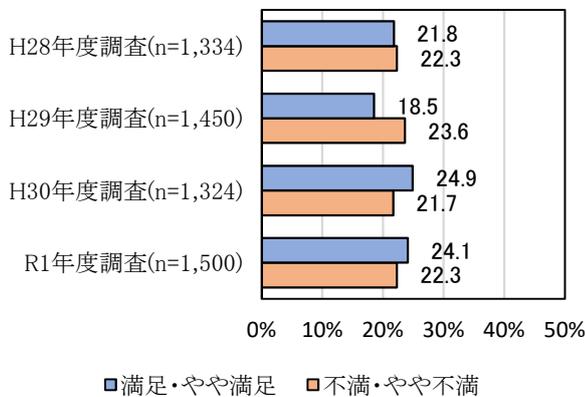
(7) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



(8) 農業の活力増進に関する取組



(9) 農林水産物の販売戦略



問 4-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組について、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。

～「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が52.9%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が42.2%と続き、農林水産・畜産業振興に関連した取組が上位となっている。

平成28年度-令和元年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」は4割～5割台で推移しており、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」については年度毎に増加している。

また、「次世代エネルギーの推進」は28年度-30年度は横ばいだったものの、今年度は大幅に増加している。

図11 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度

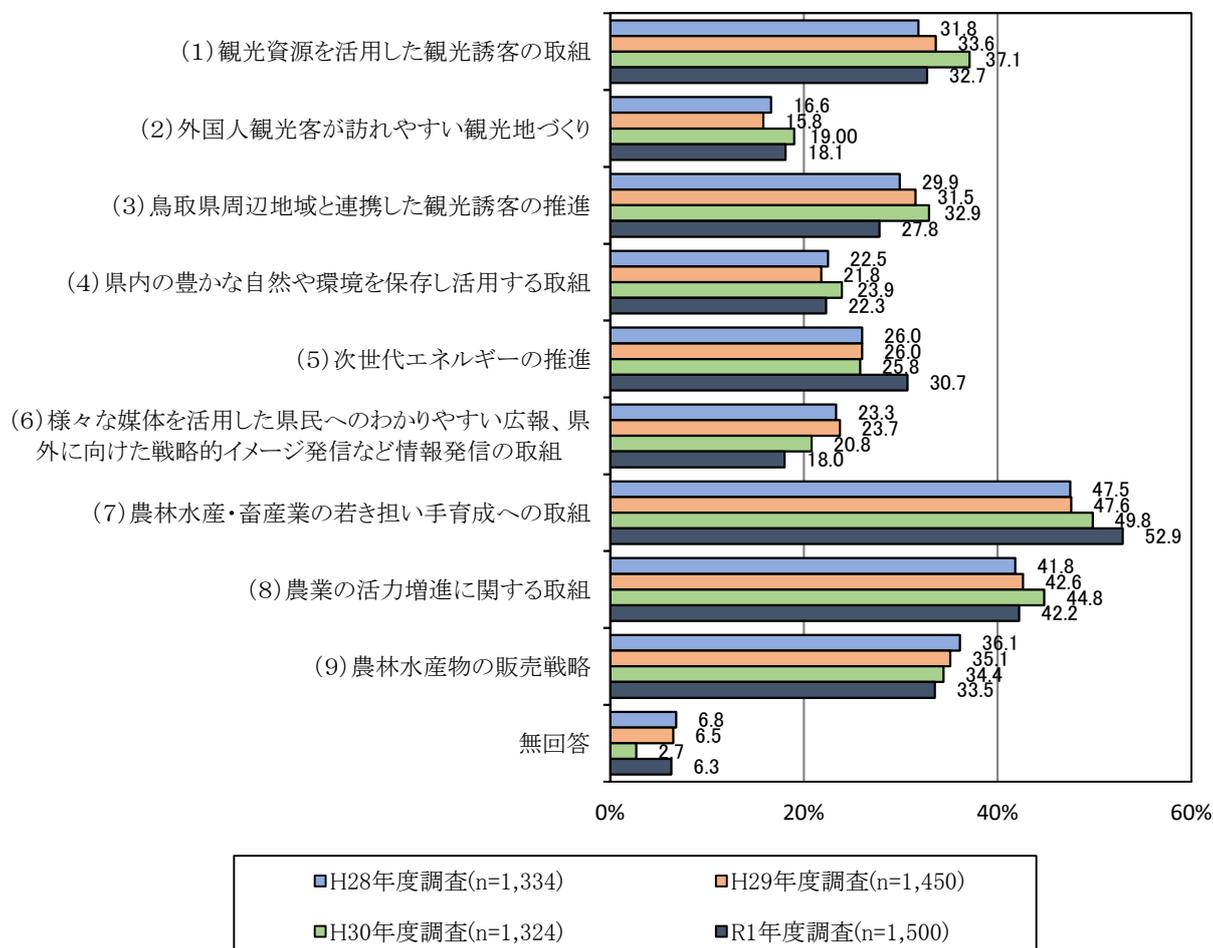
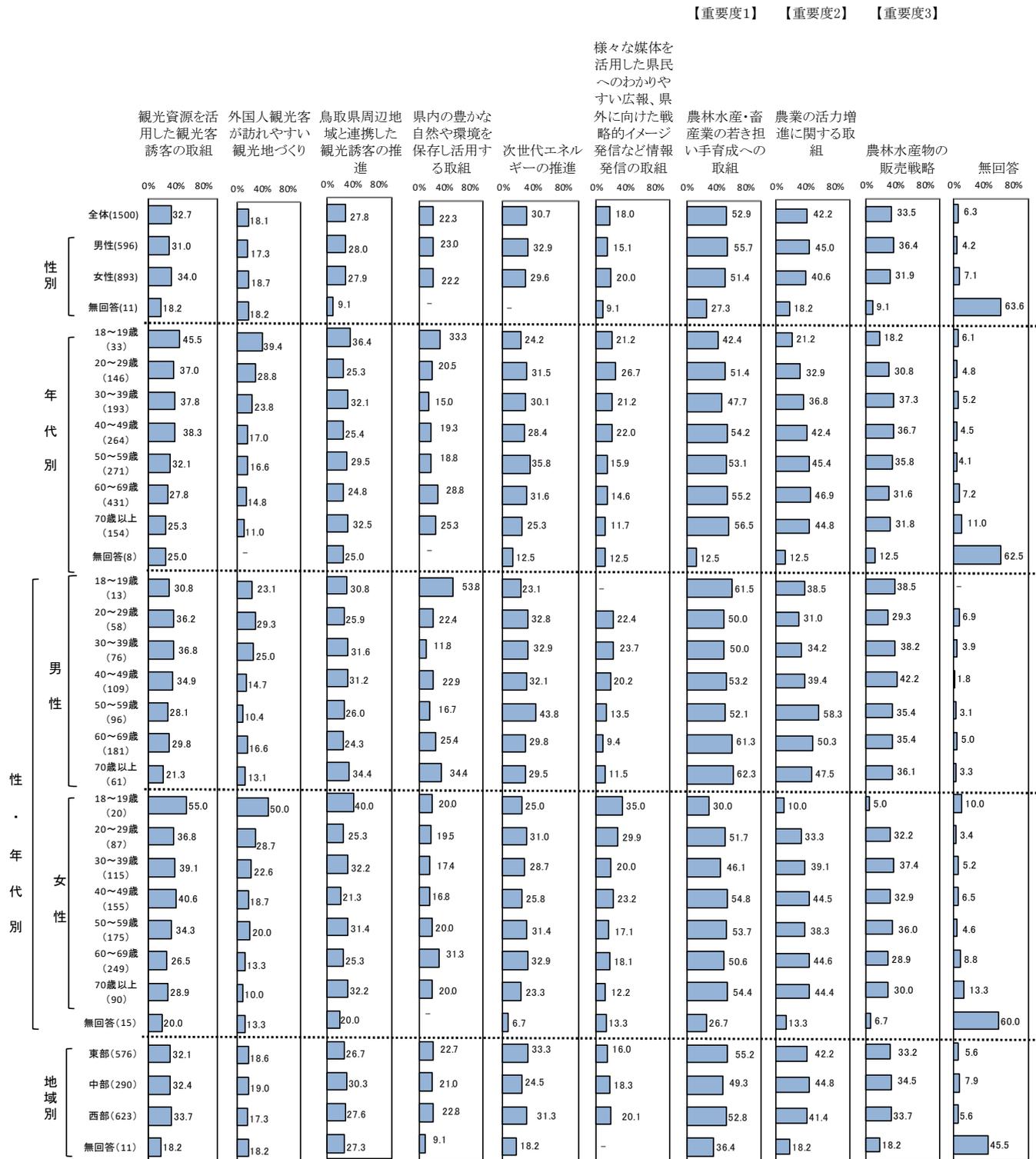


図12 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



## 問 4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

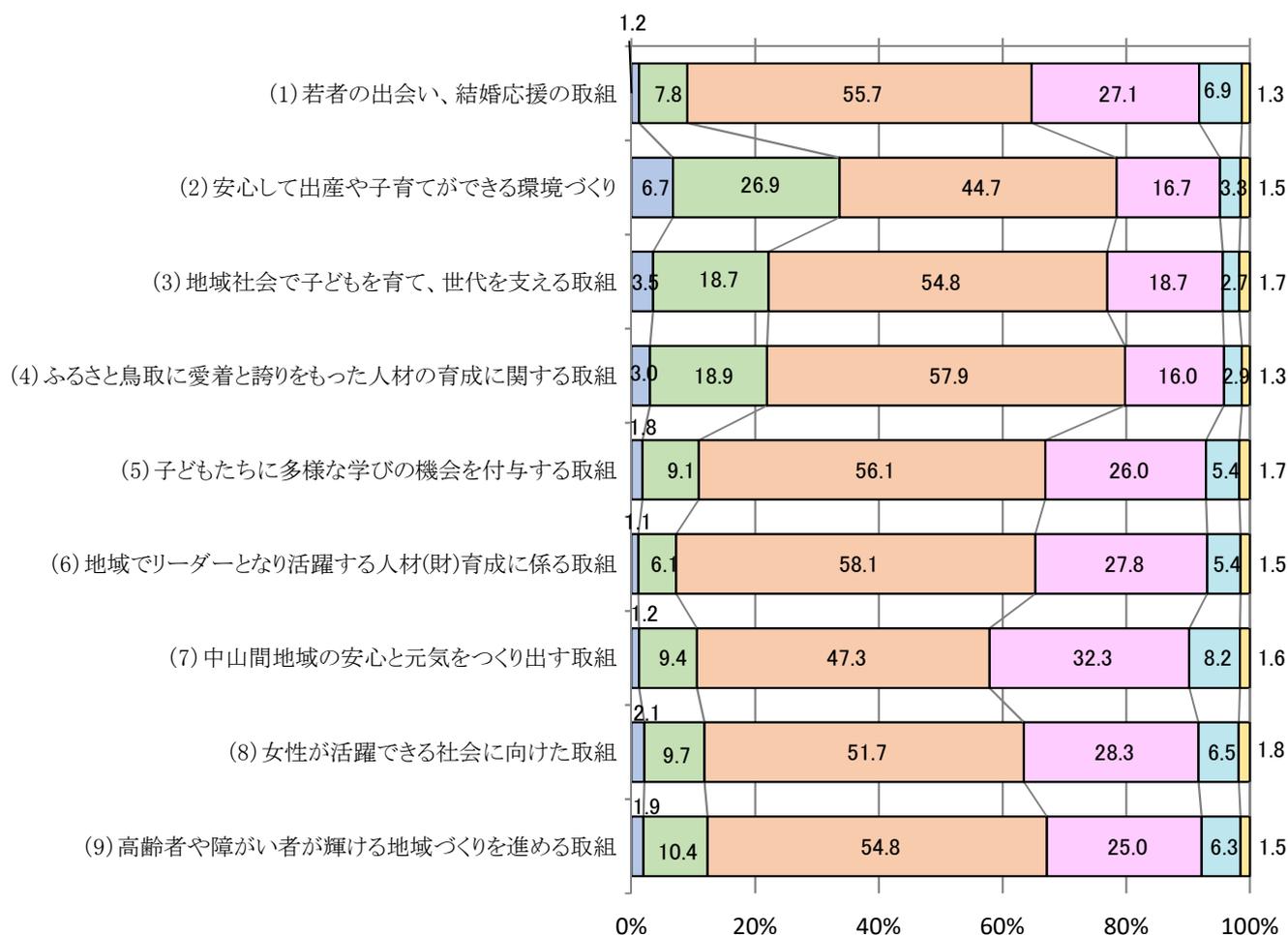
### ～安心して出産や子育てができる環境づくりの満足度がトップ～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が 33.6%と最も割合が高く、次いで「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」が 22.2%、「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」が 21.9%となっている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、全ての年度で「安心して出産や子育てができる環境づくり」の満足度が他の項目に比べ高くなっている。

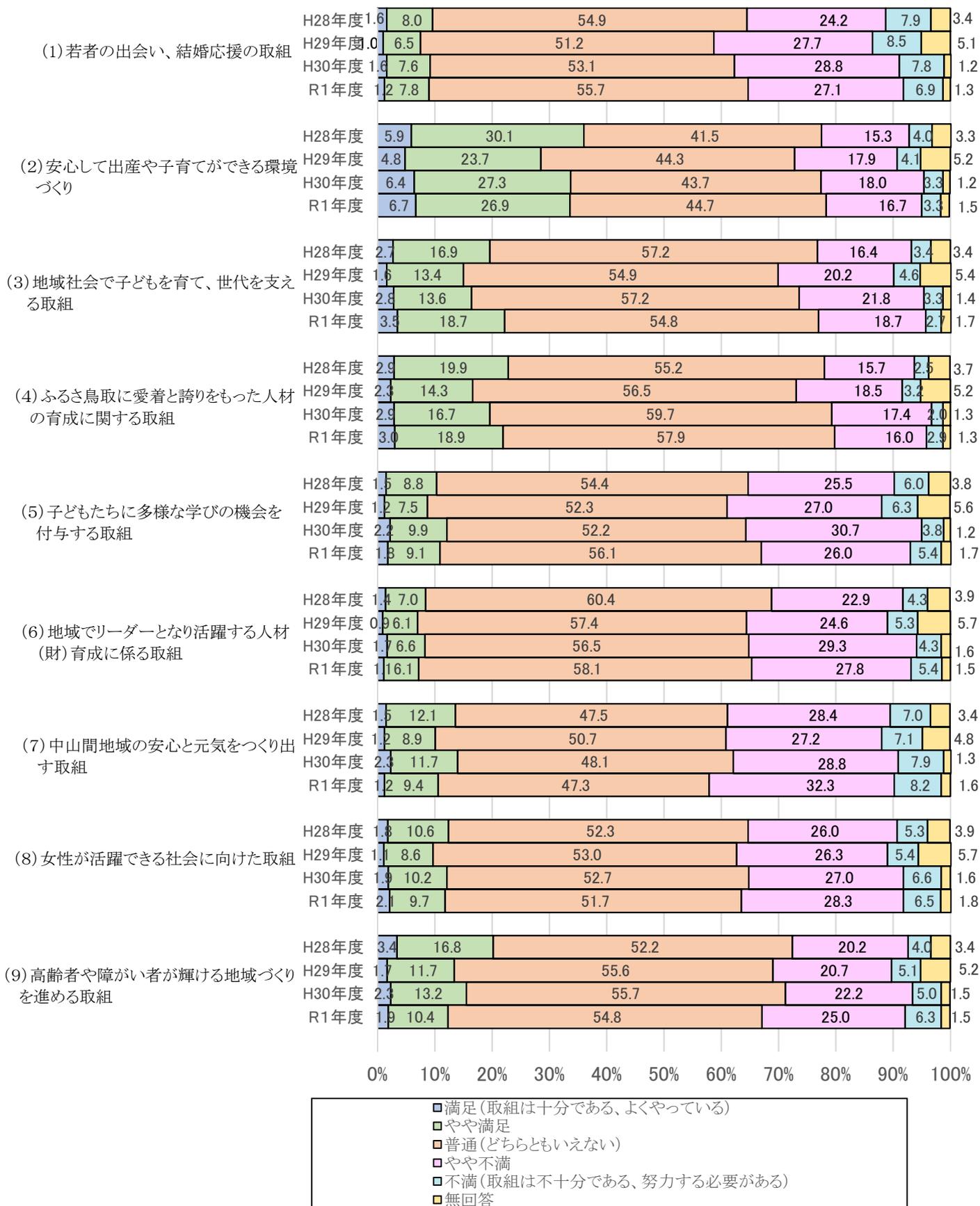
また、「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」は 29 年度以降、年々増加している。

図13 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度 (n=1,500)

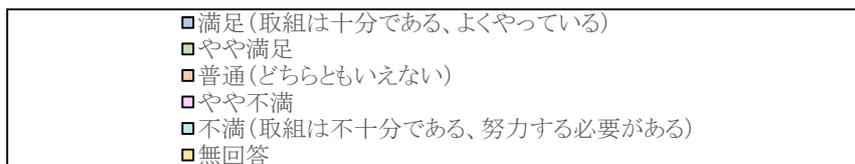


- |                           |        |
|---------------------------|--------|
| ■ 満足(取組は十分である、よくやっている)    | ■ やや満足 |
| ■ 普通(どちらともいえない)           | ■ やや不満 |
| ■ 不満(取組は不十分である、努力する必要がある) | ■ 無回答  |

図14 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



## 問 4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

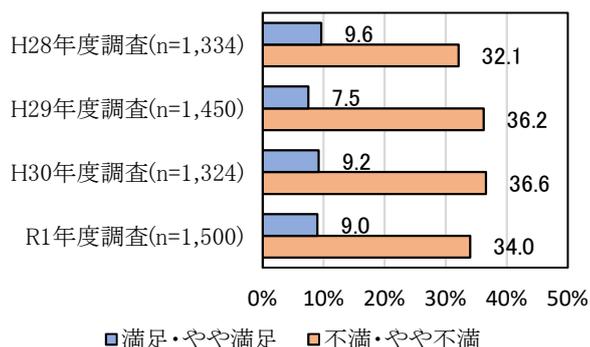
### ●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

- (3) 地域社会で子どもを育て、世代を支える取組 【+5.8】
- (4) ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組 【+2.3】

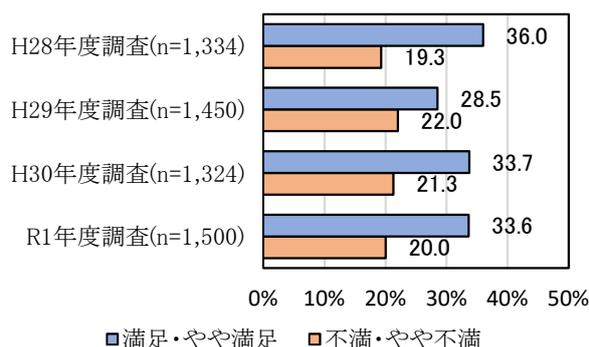
### ●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (9) 高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組 【+4.1】
- (7) 中山間地域の安心と元気をつくり出す取組 【+3.8】
- (8) 女性が活躍できる社会に向けた取組 【+1.2】

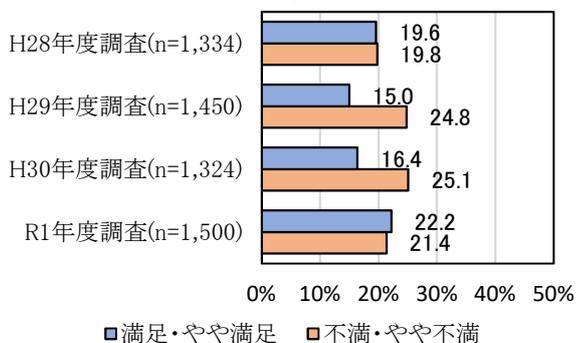
(1) 若者の出会い、結婚応援の取組



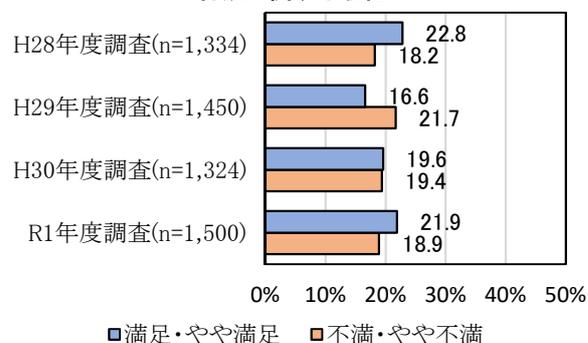
(2) 安心して出産や子育てができる環境づくり



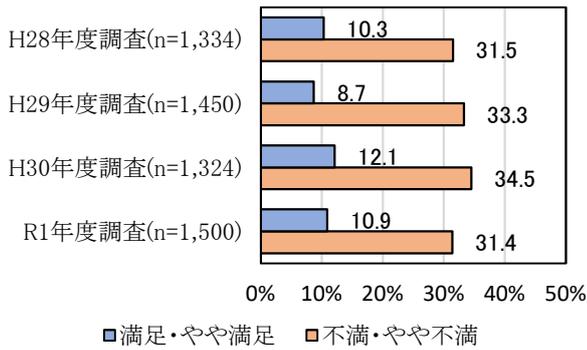
(3) 地域社会で子どもを育て、世代を支える取組



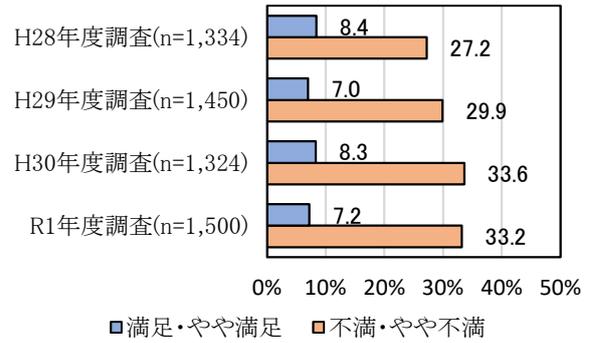
(4) ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組



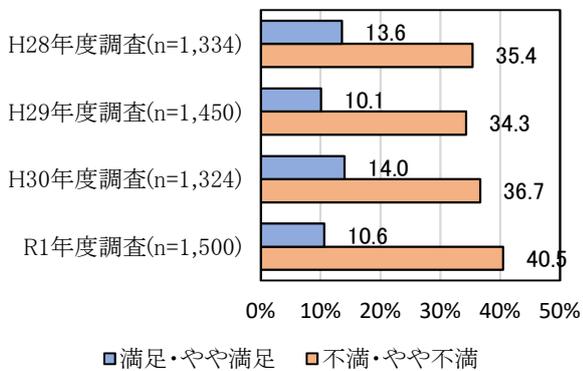
**(5) 子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組**



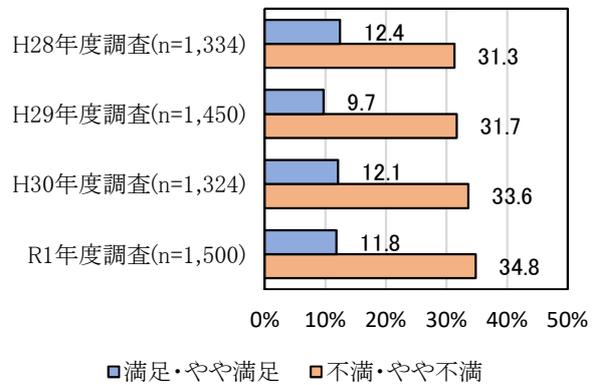
**(6) 地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組**



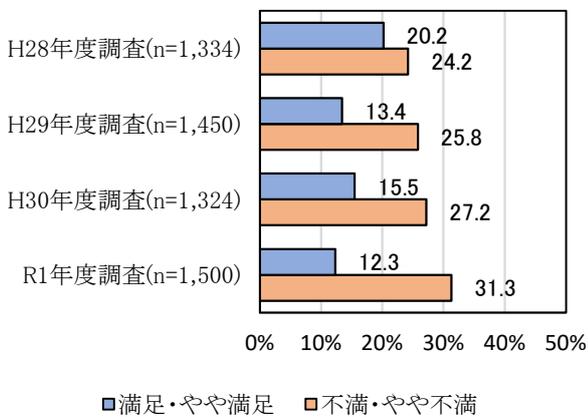
**(7) 中山間地域の安心と元気をつくり出す取組**



**(8) 女性が活躍できる社会に向けた取組**



**(9) 高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組**



問 4-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「安心して出産や子育てができる環境づくり」「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が44.9%と最も割合が高く、次いで「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が42.7%、「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が35.5%となっている。

平成28年度-令和元年度を比較してみると、「安心して出産や子育てができる環境づくり」は4割台で推移している。また、「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」は28年度-30年度は横ばいだったものの今年度は大幅な増加となり、「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」「地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組」も増加している。

「安心して出産や子育てができる環境づくり」を年代別で見ると20～30歳代の割合が、性・年代別で見ると男性の30～40歳代、女性の20～30歳代の割合が高くなっている。

図15 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

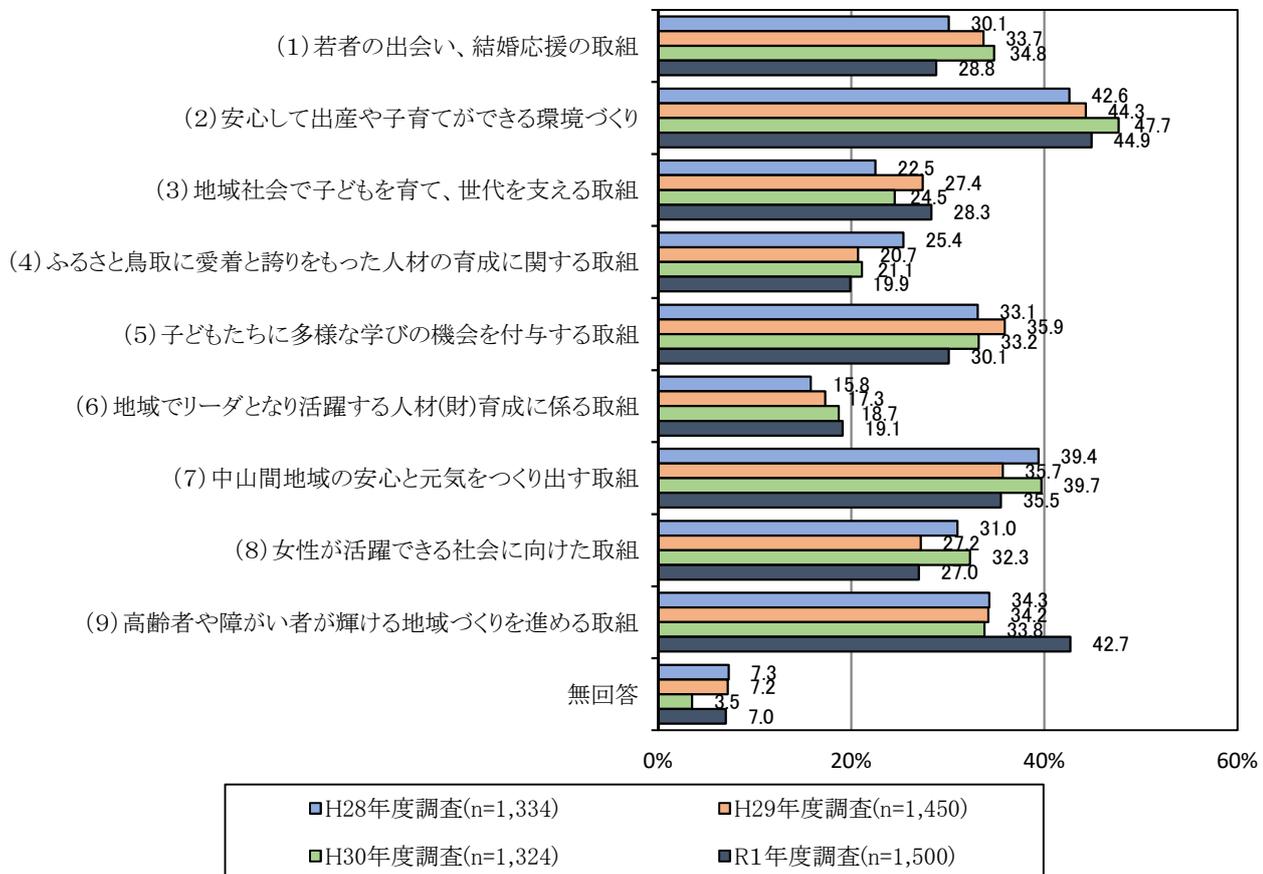
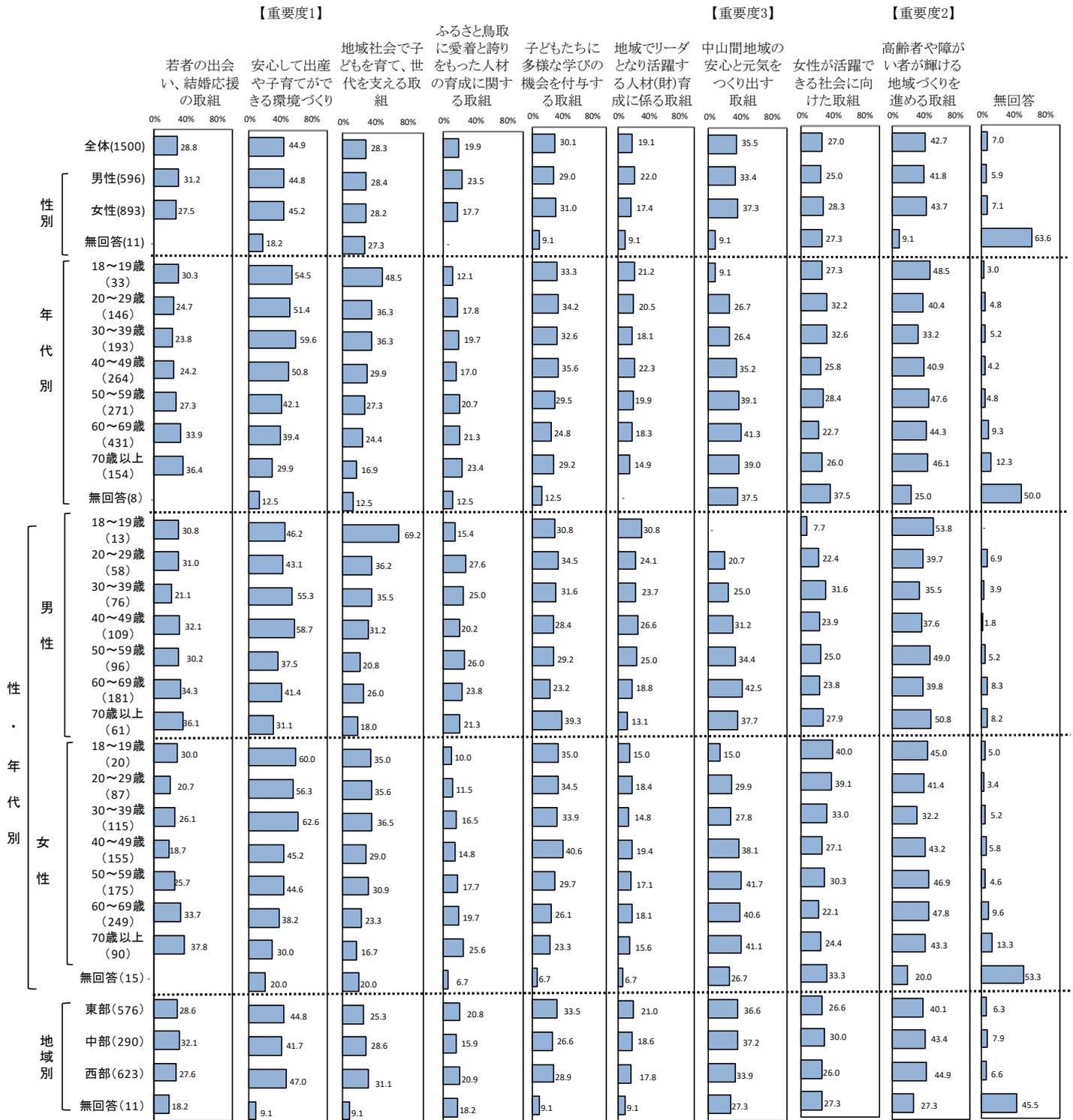


図 16 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



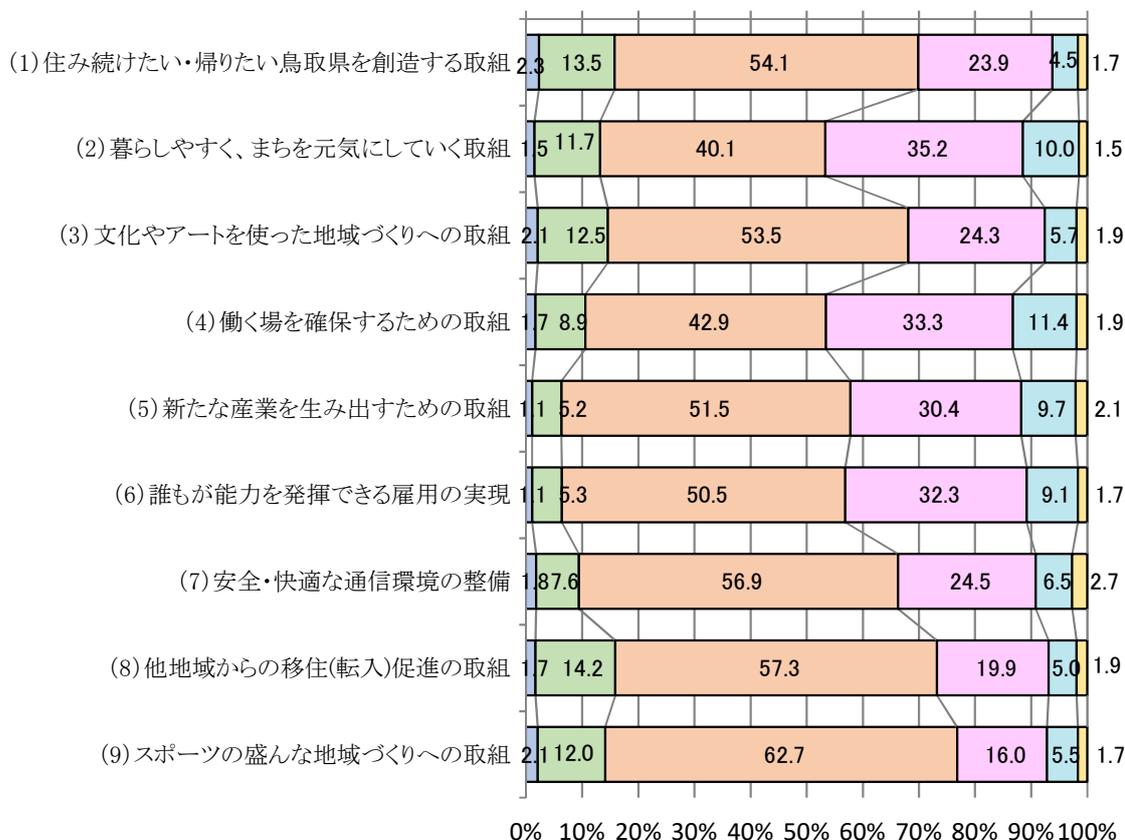
## 問 4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

### ～移住定住の取組および、文化・スポーツ面の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「他地域からの移住(転入)促進の取組」が15.9%と最も割合が高く、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が15.8%、「文化やアートを使った地域づくりへの取組」が14.6%、「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が14.1%となっている。

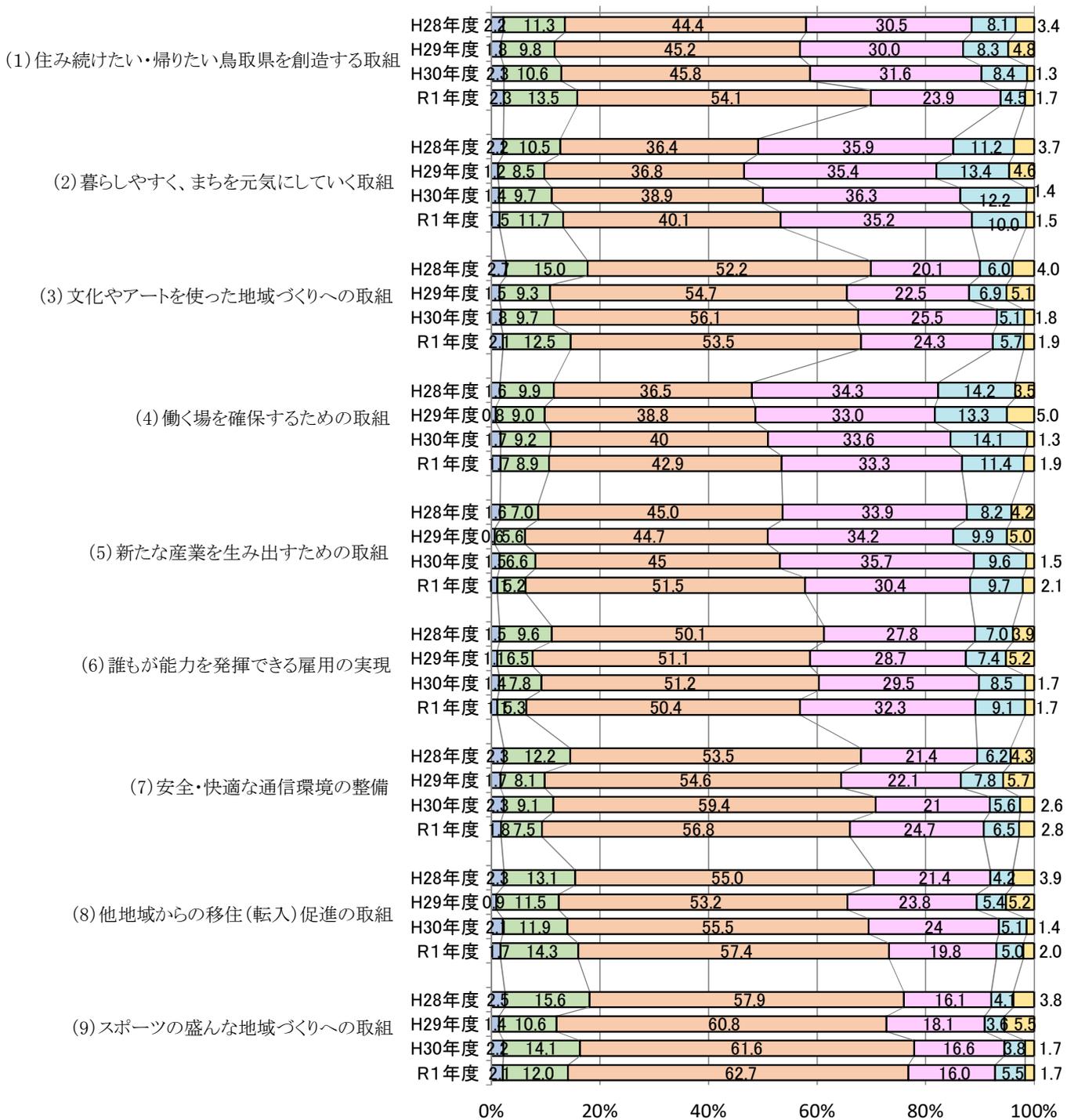
平成28年度-令和元年度を比較してみると、満足度は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「文化やアートを使った地域づくりへの取組」「他地域からの移住(転入)促進の取組」が29年度以降、年々増加している。

図17 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,500)



■ 満足 (取組は十分である、よくやっている)	■ やや満足
■ 普通 (どちらともいえない)	■ やや不満
■ 不満 (取組は不十分である、努力する必要がある)	■ 無回答

図18 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度



満足 (取組は十分である、よくやっている)  
 やや満足  
 普通 (どちらともいえない)  
 やや不満  
 不満 (取組は不十分である、努力する必要がある)  
 無回答

## 問 4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

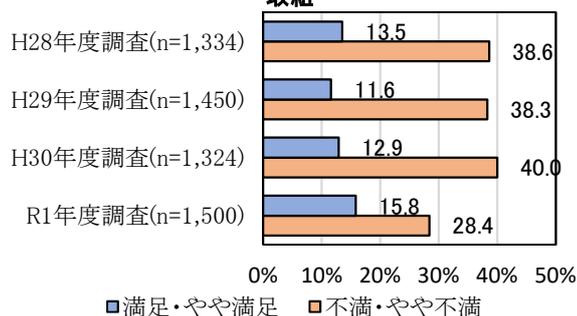
### ●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

- (3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組 【+3.1】
- (1) 住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組 【+2.9】
- (2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組 【+2.1】
- (8) 他地域からの移住(転入)促進の取組 【+2.0】

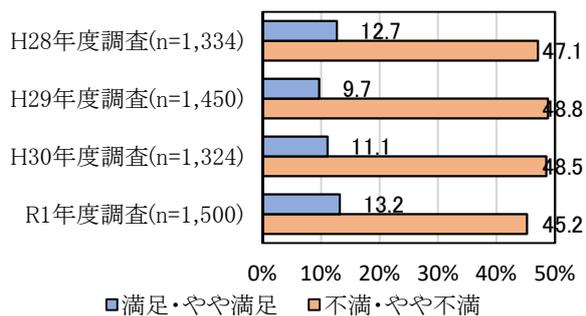
### ●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (7) 安全・快適な通信環境の整備 【+4.6】
- (6) 誰もが能力を發揮できる雇用の実現 【+3.4】
- (9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組 【+1.1】

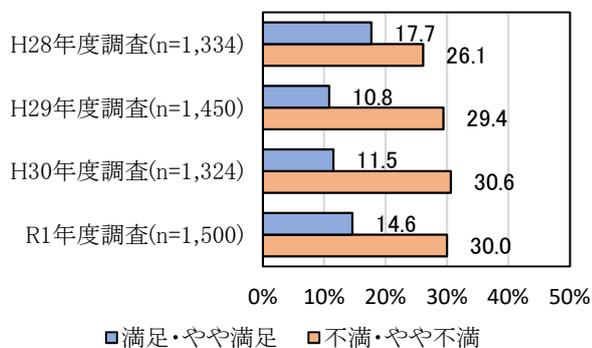
(1) 住み続けたい・帰りたい鳥取を創造する取組



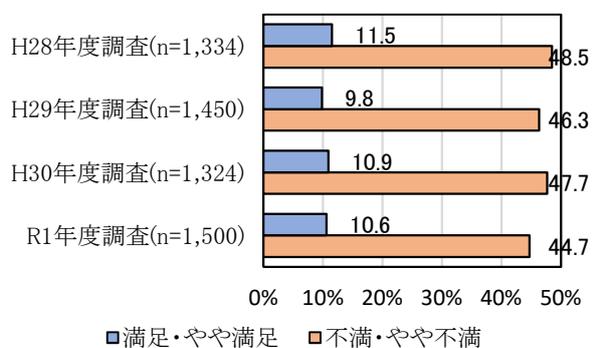
(2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組



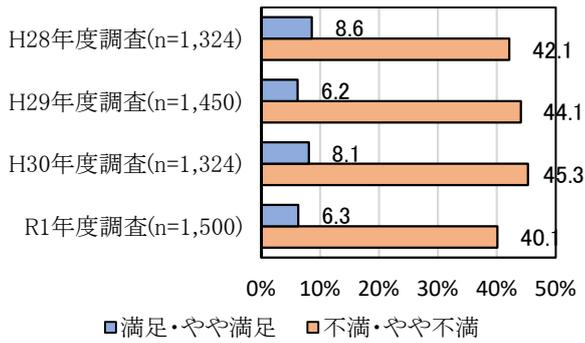
(3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組



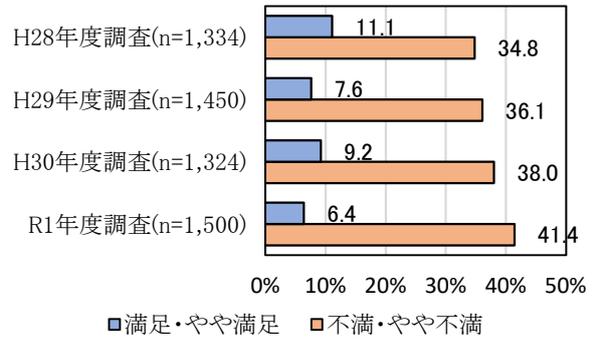
(4) 働く場を確保するための取組



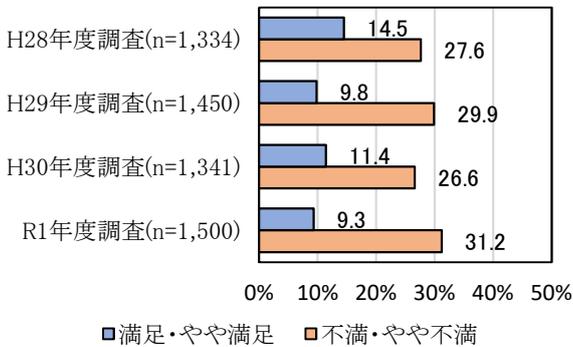
(5) 新たな産業を生み出すための取組



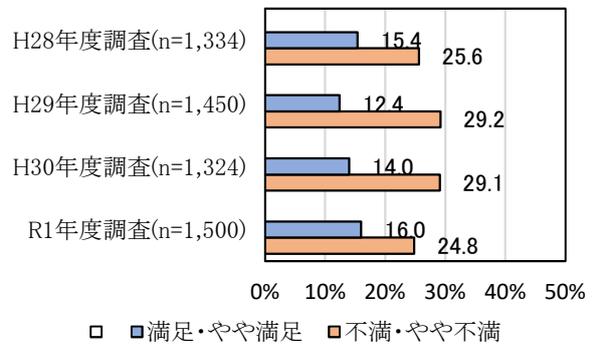
(6) 誰もが能力を発揮できる雇用の実現



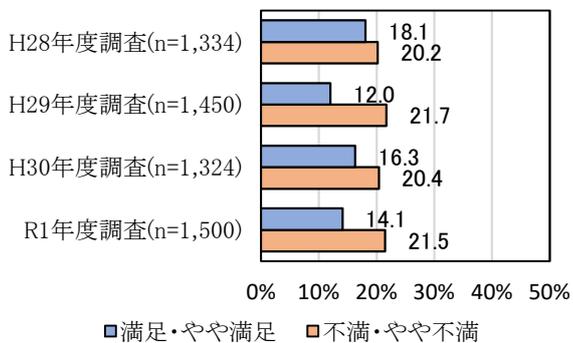
(7) 安全・快適な通信環境の整備



(8) 他地域からの移住(転入)促進の取組



(9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組



問 4-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目について、今後優先すべき(重要度が 高い)と思う項目を3つお選びください。

～「働く場を確保するための取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が上位～

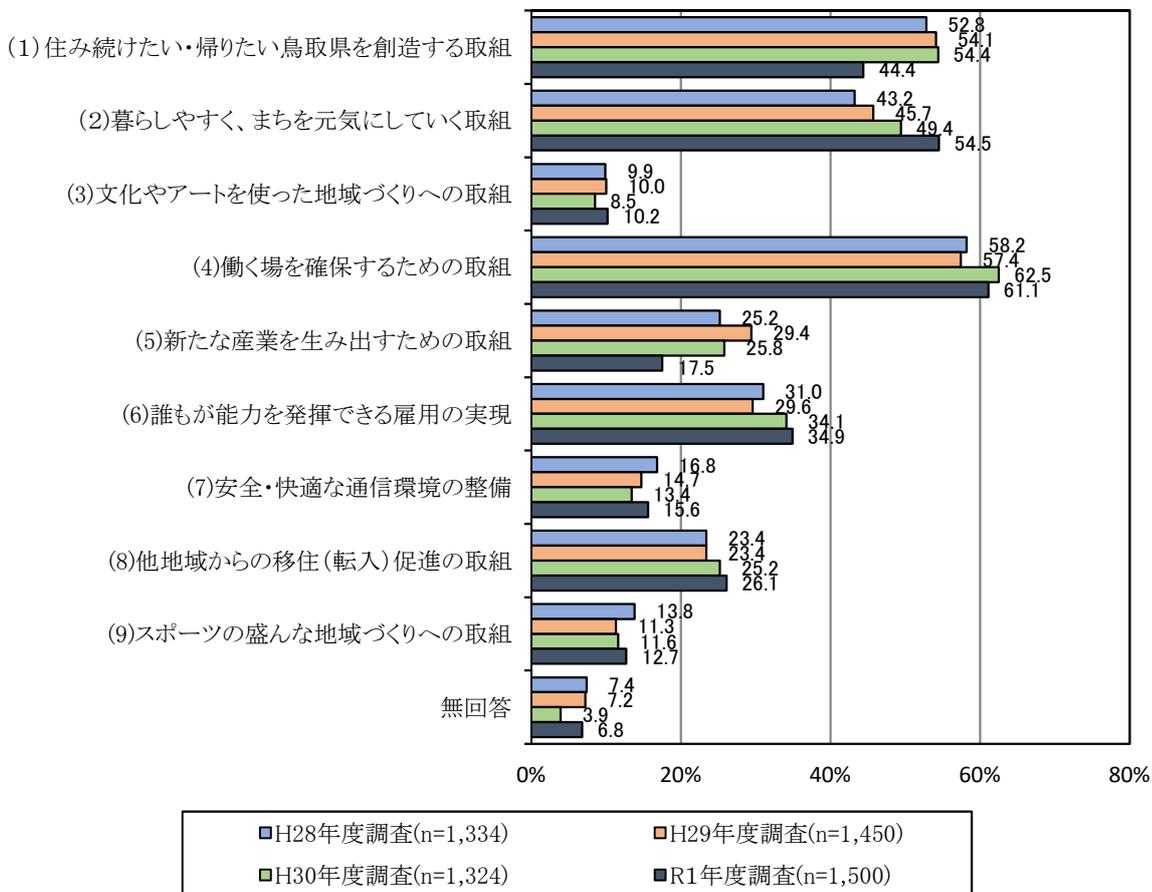
今後優先すべき重要度の高い項目は、「働く場を確保するための取組」が61.1%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が54.5%、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が44.4%となっている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、「働く場を確保するための取組」は約6割台で推移しており、「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」は 28、29 年度で 30%前後だったが、30 年度以降は 34%台となり増加傾向にある。

また、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」は28年度以降毎年増加し、28年度比で元年度は 11.3ポイント増となっている。

性・年代別でみると、「働く場を確保するための取組」は男性の 40～60 歳代で割合が高く、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」は男性の 20 歳代、60 歳代、女性の 20 歳代、50 歳代で、「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」は女性の 20～30 歳代、70 歳以上で割合が高くなっている。

図19 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度





## 問 4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

### ～医療体制の強化や災害に強いまちづくりの満足度が上位～

「県政のさまざまな取組」についての満足度(満足・やや満足の計)は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が 29.2%と最も高く、次いで「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が 29.0%、「地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組」が 26.7%となっている。

平成 28 年度-令和元年度を比較してみると、満足度は「地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」が全ての年度で高い割合となっている。また、「健康を守り、医療体制を強くする取組」「人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現」を除く項目の満足度は 29 年度以降増加しており、特に「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「県内交通の高速化への取組」の今年度の満足度は大幅に伸びている。

図21 「県政のさまざまな取組」の満足度(n=1,500)

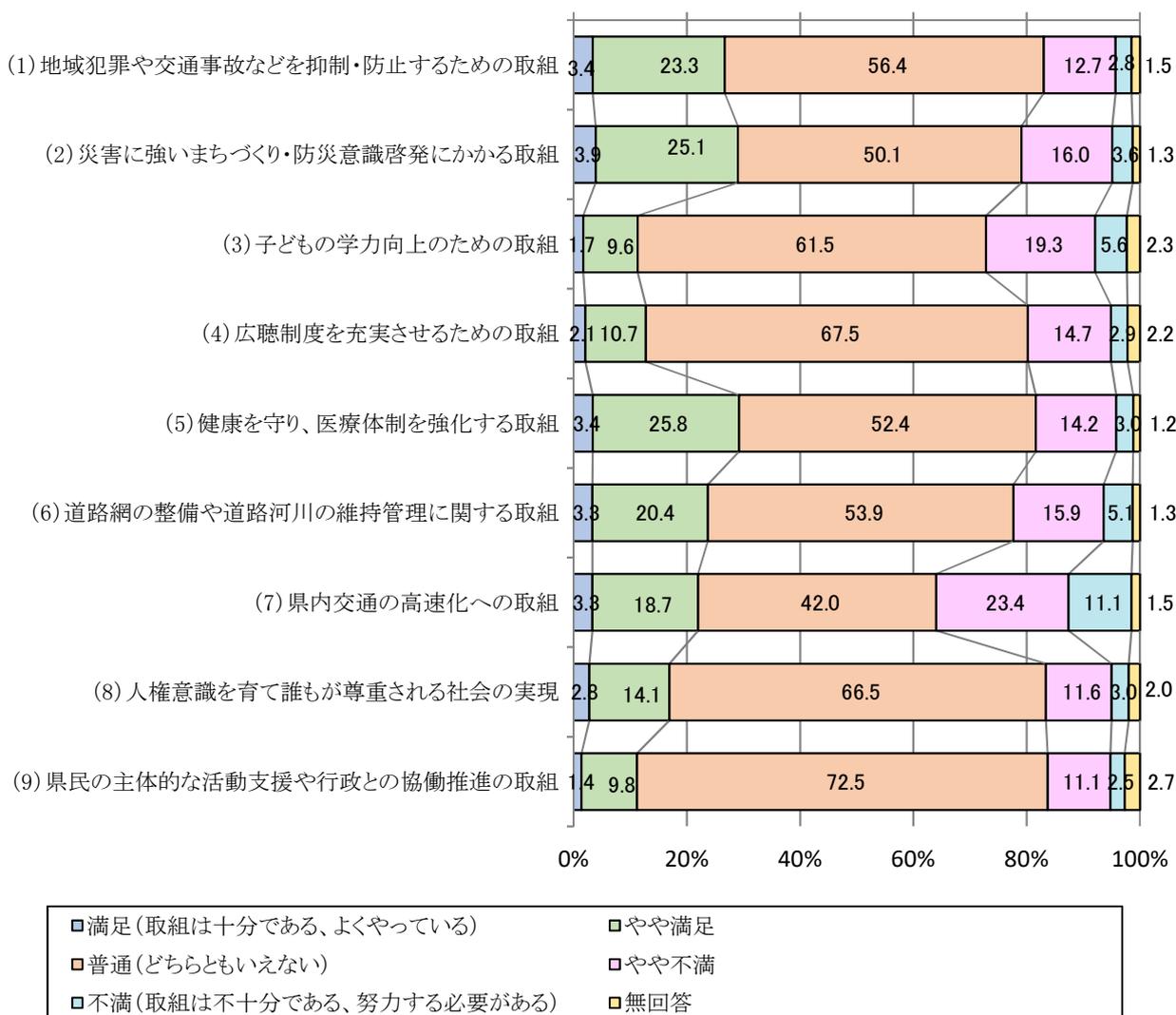
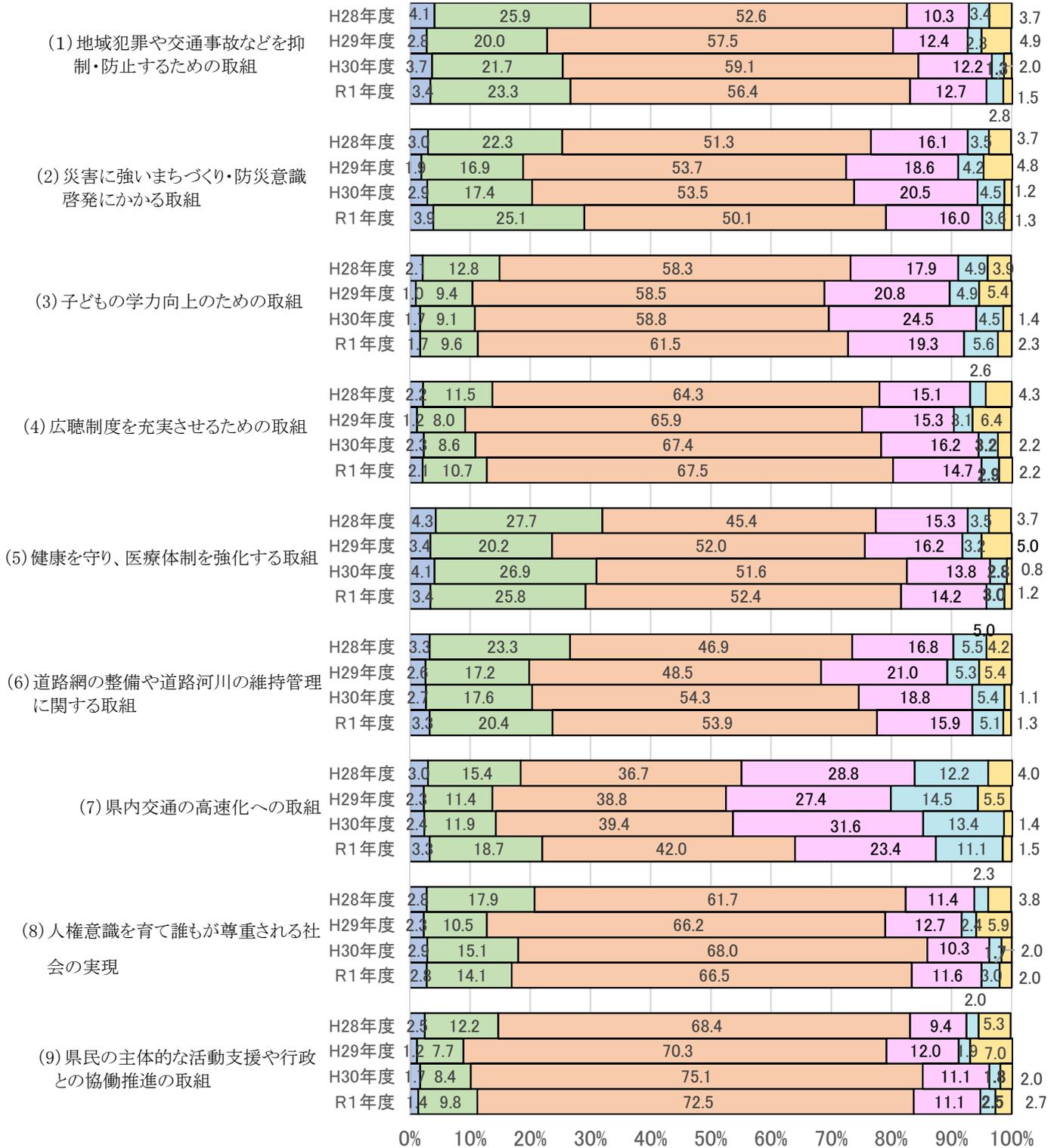


図22 「県政のさまざまな取組」の満足度



満足(取組は十分である、よくやっている)  
 やや満足  
 普通(どちらともいえない)  
 やや不満  
 不満(取組は不十分である、努力する必要がある)  
 無回答

## 問 4-4-1 「県政のさまざまな取組」の満足度

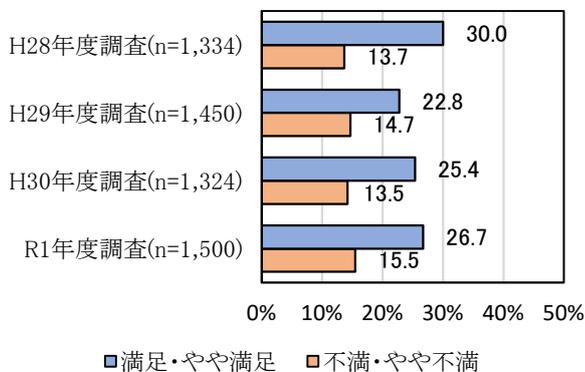
### ●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組	【+8.7】
(7) 県内交通の高速化への取組	【+7.7】
(6) 道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組	【+3.4】
(4) 広聴制度を充実させるための取組	【+1.9】
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組	【+1.3】
(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組	【+1.1】

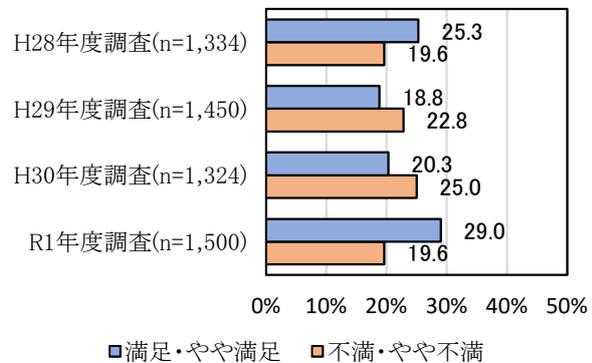
### ●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現	【+2.3】
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組	【+1.3】

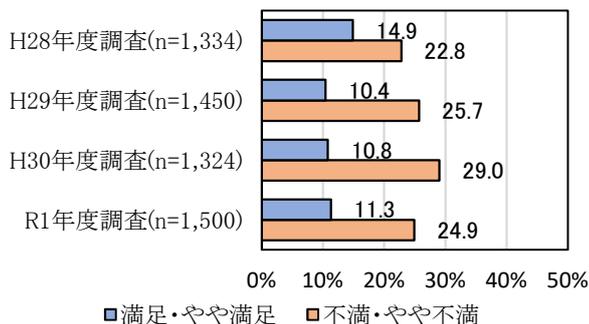
(1) 地域犯罪や交通事故等を抑制・防止するための取組



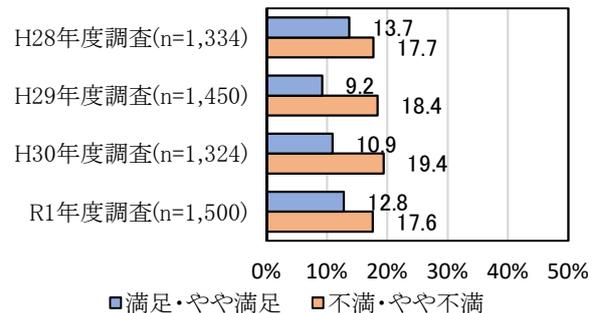
(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組



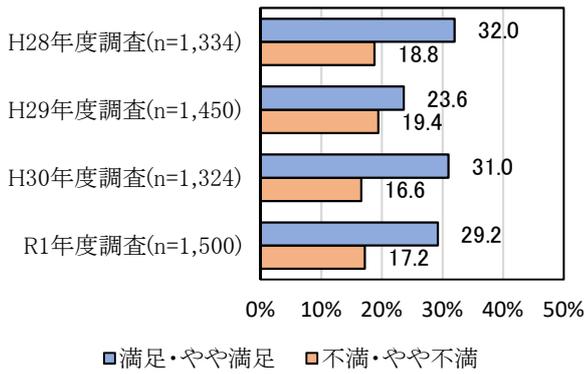
(3) 子どもの学力向上のための取組



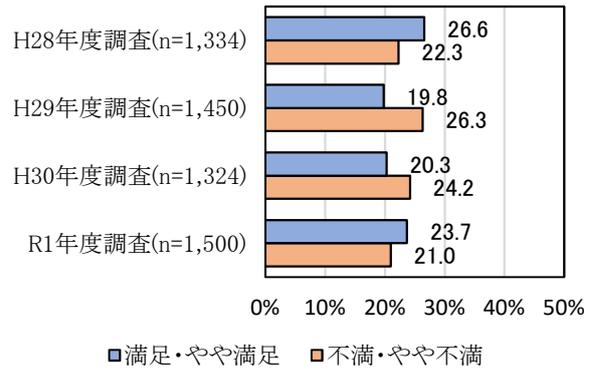
(4) 広聴制度を充実させるための取組



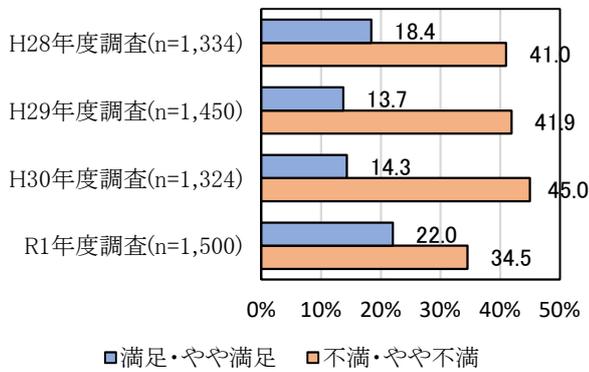
**(5) 健康を守り、医療体制を強化する取組**



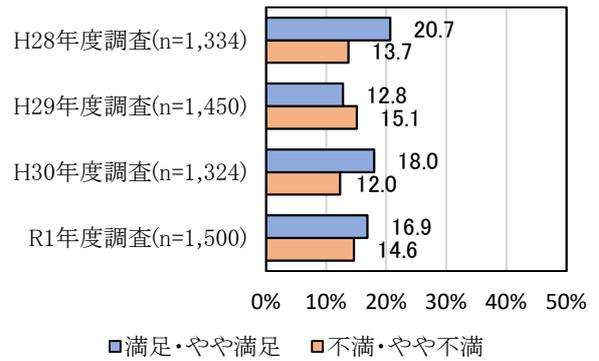
**(6) 道路網の整備や道路・河川の維持管理に関する取組**



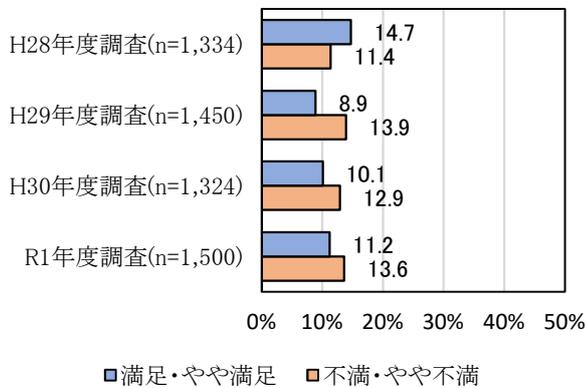
**(7) 県内交通の高度化への取組**



**(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現**



**(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組**



問 4-4-2 「県政のさまざまな取組」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」

「健康を守り、医療体制を強化する取組」「県内交通の高速化への取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が50.7%と最も割合が高く、次いで「健康を守り、医療体制を強化する取組」が49.9%、「県内交通の高速化への取組」が41.5%となっている。

平成28年度-令和元年度を比較してみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」「県内交通の高速化への取組」は4～5割台で推移している。また、「健康を守り、医療体制を強化する取組」は30年度までは減少しているが今年度は増加となっている。

年代別でみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」は全ての年代で5割前後となっており、「県内交通の高速化への取組」は50歳代以下の割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」は男性の50歳以上、女性の20歳代で割合が高くなっている。「健康を守り、医療体制を強化する取組」は男性の50～60歳代、女性の30～50歳代で割合が高くなっている。

図23 「県政のさまざまな取組」の重要度

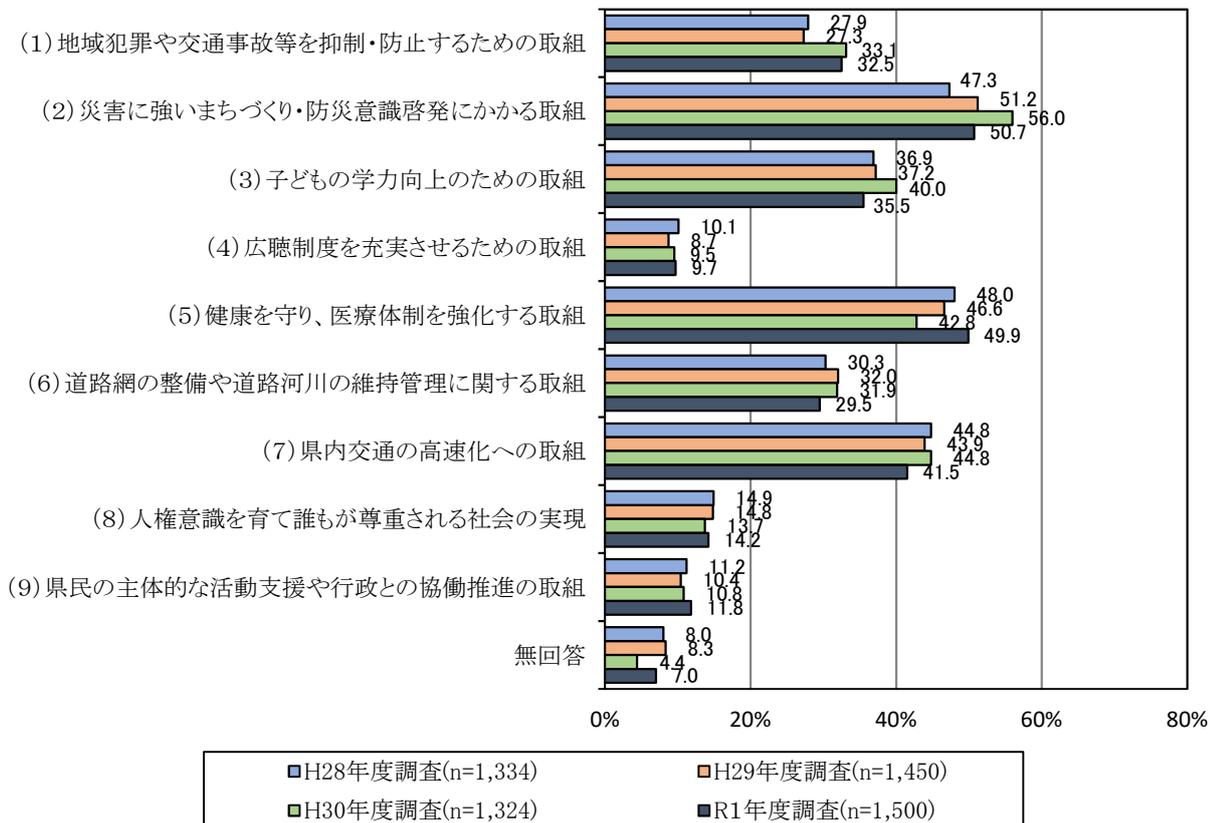


図 24 県政のさまざまな取組(今後優先すべき項目)

